

愛

は

勝

つ

美祿市立美東中学校 学校だより
令和6年4月号



「 一点突破 あいさつ・礼儀 」

(Web サイト)

生徒全員が活躍したかけがえのない素晴らしい1年間をありがとう！

・今年度最後の「学校だより」は、3月の朝、昇降口での「あいさつ活動」の時に流している、小田和正さんの「so far so good」をみなさんにお届けして、1年間を締めくくりたいと思います。

作詞：小田和正 作曲：小田和正

春がまた ここに 帰って来た やわらかな風が 街を包んだ

今 すべてのことが 変わって行く 人の心も 変えて行く

嬉しいこと 悔しいこと 繰り返しながら

相変わらずの毎日 そんな自分だけ

誰かを 幸せに出来るとしたら きっと それが いちばん 幸せなこと

小さな夢と 不安を抱えて 自分が思う道を 歩いている

たとえ 選んだその道が 間違っているとしても

無駄な時間が 流れるわけじゃない

どれだけ 遠回りになったとしても

いつか 目指したその場所へ たどり着けるはず

でも 誰かを 幸せに出来るとしたら

きっと それが いちばん幸せなこと

春は来て 春は行く 生きて行けば また 時は来る

誰かを 幸せに出来るとしたら きっと それが いちばん 幸せなこと

この街にまた 春が 帰って来た 少しだけ強く 今 風が吹いた



慶応大学生との交流授業

3月1日(金)、慶応大学の学生とコンゴからの留学生が来校し、生徒との交流を行いました。外国の文化についてタブレットを使って紹介していただいた後、美東町のことや自分のことを、絵などを使って説明していました。小グループでの交流であったこともあり、生徒たちは和やかな雰囲気の中で積極的に発言していました。生徒たちの成長と、自己表現力やコミュニケーション力の高まりを実感できた授業の一場面でした。

三年生に感謝を伝える会

3月7日(木)、卒業式を前にした3年生に感謝の伝える会が行われました。転勤された先生方からのお祝いメッセージビデオや3年間の振り返るスライドショーの上映、1、2年生からの手作りプレゼントの贈呈など行いました。受検の終わった3年生は、3年間の成長を実感するとともに、リラックスした雰囲気の中、笑顔で中学校生活を振り返っていました。



立志式(2年生)

3月16日(土)、2年生は立志式を行いました。生徒たちは、景清洞の洞窟探検を行い、美東町の歴史や自然の壮大さを感じ取りながら、自分の将来を見つめ直す機会となりました。学校に戻った後は、全員が体育館ステージ上でこれまでの自分を振り返り、これからの決意を自分の言葉で堂々と述べました。4月から最上級生となる2年生がとても頼もしく感じられました。



キャリア講座(1年生)

3月16日(土)、1年生はキャリア講座を行いました。大田保育園から保育士の長沼様、秋吉台サファリランドからは大下様に来校していただき、仕事の内容をはじめ働くことの楽しさややりがいなどを話していただきました。生徒たちは真剣に話を聞きながらメモをとっていました。自分の将来の職業について真剣に考えるよい機会となったようです。



美祢市生涯学習フェスタへの出演

3月17日(日)、美祢市生涯学習のまちづくりフェスタに吹奏楽部が出演しました。美東町で活動するスイングビートとのコラボで、中学生が大人と一緒に演奏を披露しました。生徒たちにとっては、市民館のステージで演奏できたことはとてもよい経験になったようです。また、前日の16日(土)は、卒業生の小野歩花さんが作文を披露しました。



令和5年度も、生徒たちは多くの体験をし、大きく成長しました。行事を行う際には、保護者の方のご協力はもちろん、地域の方々にも様々な形でご指導やご支援をいただきました。これからも、地域とともに生徒の成長を後押ししていきたいと思っております。1年間ありがとうございました。